

**【報道発表資料】**2019年3月14日  
多摩大学**ルール形成戦略研究所、「サステナブル・エネルギー研究会」を発足  
再生エネルギーの普及加速に向け供給事業者・利用企業などが参画**

多摩大学 ルール形成戦略研究所（所長 國分俊史）は、本日付で「サステナブル・エネルギー研究会」を創設します。本研究会は、再生可能エネルギーの普及加速に向けて、供給事業者だけでなく調達側の企業も参画し、供給量を加速するための政策や調達困難地域で事業活動する場合の ESG 投資における企業評価のあり方、サステナブル・エネルギーの定義、事業性評価と格付けの方法などを研究します。座長には、当研究所所長 國分俊史が就任します。

再生可能エネルギーは第 5 次エネルギー基本計画において主力電源化が明記され、利用者である企業側でも事業に必要なエネルギーを 100%再生可能エネルギーで賄うことを目標とした「RE100」への加盟や「TCFD」（気候変動関連財務情報開示タスクフォース；The FSB Task Force on Climate-related Financial Disclosures）への対応が急速に浸透し始めています。また ESG 投資が株価や資金調達力に与える影響が増大し、化石エネルギーの利用を見直させる圧力も世界的に高まっています。再生エネルギーの利用比率が企業の競争力を左右するこのような状況下、日本国内における再生エネルギーの供給能力には限界があり、たとえ「RE100」にコミットする企業が増えても調達がままならず、再生エネルギーの利用比率を十分に高められないという実態があります。本研究会においては、再生エネルギー普及拡大に向けた種々の研究を通して、企業による再生エネルギー供給拡大へのアドボカシーの能動的展開を目指します。

活動内容および研究会創設時の参画企業・団体は以下の通りです。

**【活動】**

- ① RE100 参画企業、再生エネルギー供給事業者、ESG 投資家が再生エネルギー普及と利用拡大において直面しているクリティカルな課題の優先順位づけ
- ② サステナブル・エネルギーの定義の構築
- ③ 世界と連携して解決することが有効な政策課題の特定
- ④ 今の状況を打開するために、日本の政治家や省庁に対して真に有効なアドボカシーアプローチの特定
- ⑤ サステナブル・エネルギー由来の発電所の事業性の評価と格付けの在り方
- ⑥ サステナブル・エネルギーの普及、振興に関する運営手法（ナッジ等の行動インサイト他）の在り方
- ⑦ その他必要と認められる活動

**【体制】**

座 長：國分俊史 多摩大学ルール形成戦略研究所 所長  
事 務 局 長：福田峰之 多摩大学ルール形成戦略研究所 客員教授  
事務局支援：EY アドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社

<参画企業・個人>

GPSS ホールディングス株式会社  
エコ・パワー株式会社  
グリット・パリティ・ファイナンシャル・ソリューションズ株式会社  
株式会社クロスポイントアドバイザーズ  
株式会社地熱開発  
豊田通商株式会社  
みんな電力株式会社  
西村あさひ弁護士事務所 弁護士 忍田卓也  
大阪大学 共創機構 産学共創本部 副本部長 教授 橋本道雄  
(オブザーバー)  
衆議院議員(環境大臣)原田義昭事務所

■ルール形成戦略研究所について

ルール形成戦略研究所(CRS: Center for Rule-making Strategies)は多摩大学研究開発機構の研究所として2016年6月1日に設立されたシンクタンクです。日本で初めてルール形成戦略を政策構想から世界各国の政策関係者とのネットワーク構築、協議、政策提言まで実行する実践性の高いシンクタンクであることが特徴です。政産官学の垣根をこえた知見の集積を加速させ、また、本分野に関わる世界各国の専門家や有識者とのネットワーク構築を通じて最先端のルール形成動向を把握することで、日本企業および国家のルール形成戦略機能の抜本的な強化と、それに基づく国際競争力の持続的な向上に寄与することを目指します。

以 上

**【お問合せ先】**

多摩大学 ルール形成戦略研究所  
メールアドレス: [contact@crs-japan.org](mailto:contact@crs-japan.org)